

## 日本産ヒョウタンカスミカメ族のWeb図説検索表

Illustrated Key to Japanese Species of the Tribe Pilophorini

中谷至伸\*

Yukinobu Nakatani

### 要約

日本産ヒョウタンカスミカメ族 17 種の図説検索表をウェブサイト上に公開した。<sup>りんもう</sup>鱗毛の形態など、識別点となる形質を図示したことで、高度の専門知識がなくとも容易に種が同定できる。

### 背景と目的

ヒョウタンカスミカメ族の多くはダニ類や小昆虫を捕食するとされ、自然環境ではこれらの天敵としての役割を果たしていると考えられている。最も普通にみられるヒョウタンカスミカメ (*Pilophorus setulosus*) は、里山を中心とした農業生態系に多く、種々の落葉広葉樹上で生活している。本族は体色、体形などが類似した種が多く、生物相の調査などで頻繁に発見されるものの、図鑑など同定に利用できる資料が乏しく、これまで分類の専門家以外による同定は困難であった。そこで、種の同定に用いる形質をわかりやすく図示した図説検索表を作成・公開することで、同定を容易にする手段を提供する。

### 成果の内容

#### 2-1 ヒョウタンカスミカメ属とは

ヒョウタンカスミカメ族はカスミカメムシ科チビカスミカメ亜科に含まれ、全世界でおおよそ 150 種ほどが知られる比較的小規模なグループで、わが国ではこれまでに 17 種が確認されている。体長約 2 ~ 4mm ほどの微小なカメムシで、アリに似た種が多いことでも知られ、背面に特徴的な銀白色の鱗毛をもち、これらが鱗毛列を形成するものもある (図 1)。

#### 2-2 Web図説検索表

日本産ヒョウタンカスミカメ族 17 種について種の検索表を作成し、鱗毛の形態など識別点となる形質をすべて図示した。これらを組み合わせてヒョウタンカスミカメ族の図説検索表を作成、Web 公開した (図 2)。農業環境技術研究所の研究・技術情報のページ (<http://www.niaes.affrc.go.jp/techdoc/index.html>) からアクセスできる。

画面の左に体の全形図を表示し、右側で拡大している部位がどこかわかるように矢印で示した。利用者は指示された形質を観察し、2 つの選択肢から合致する方を順次選ぶことで該当する種に到達する。なお、当ページには英語版も用意してある。現在のところ検索表だけだが、個々の種について解説および画像を充実させる予定である。

\*農業環境インベントリーセンター

Natural Resources Inventory Center

インベントリー, 第6号, p10-11 (2007)

具体的データ

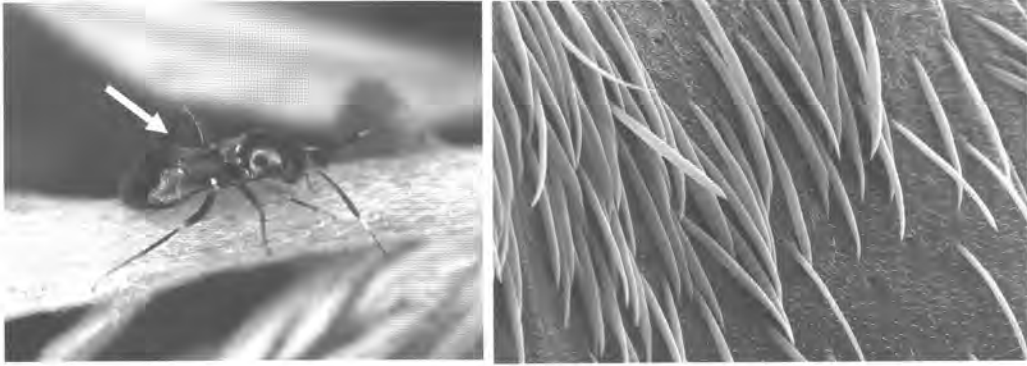


図1 左：クロヒョウタンカスミカメ *Pilophorus typicus* 成虫 (矢印は銀白色鱗毛列)。右：鱗毛列の拡大図。

並列する2者から形質が合致する方を選び次の分岐点に進む。

最終的に1つの種に到達す

クリックすればブラウザ上の次ページに移動する。

Genus *Druharskyi* Distant  
ヒグブヒサゴカスミカメ  
*D. arizumabi* Yasutaga

NIAES

図2 ヒョウタンカスミカメ族の図説検索画面

問い合わせ先

農業環境インベントリーセンター 中谷至伸  
電話：029-838-8348, E-mail：nakatany@affrc.go.jp